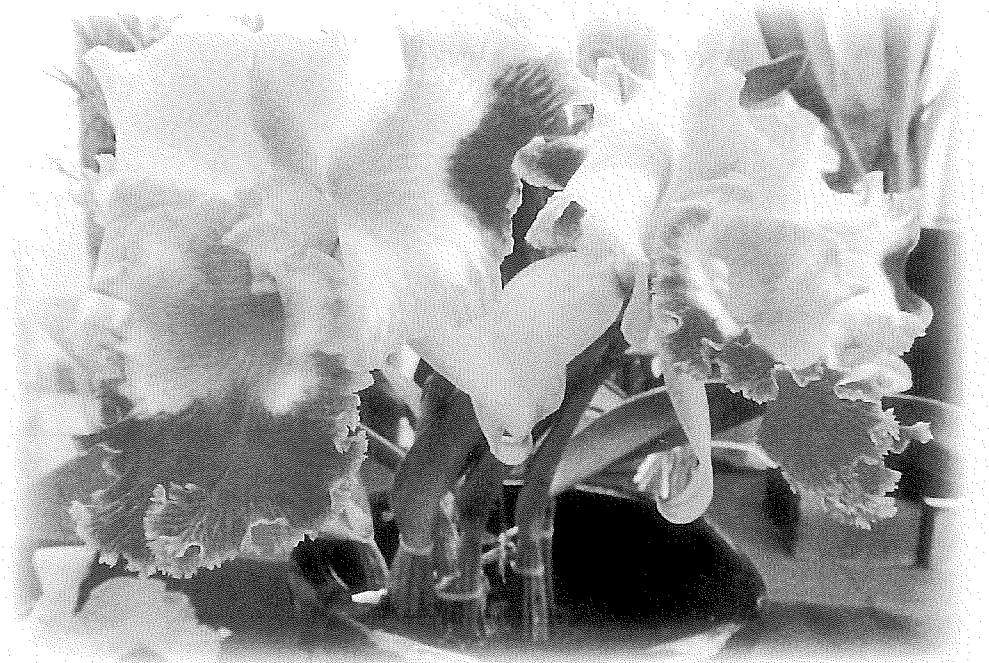


たまいたま川柳



カトレア

二年四月三十一日

願法みつる

一月号では吟社の現状につき報告させて頂きました。この三月には、昨年末を切替え時とする通常総会が開催され、昨年発足した新体制による二年目ということ、同人各位のご批判を頂戴することになります。

このときに当たって、代表としての所信を開陳することも必要であろうと考え、述べさせて頂きます。

埼玉川柳社の川柳とはどのような姿のものかと問うても、これを形象化して示すのは難しいことです。ただ吟社創設以来を綴り読みしつつ現在を観るとき、時代の変遷を経ながらも、伝承した精神が間違いなく存在していることを、抽象的ながら感得しています。

一方、世の川柳吟社の多くが年々の会員減少や高齢化を実感し問題視している現状は、埼玉川柳社とて例外ではありません。誠に深刻なことですが対策は建てにくい。このことはまた財政に大きく影響を与えています。

先人から預かった多少の蓄えに感謝しながら、逐年を消時してゆく在り様が、代表としての最大の心配事です。

収入の減少に直面しながら支出のバランスを保たなければならぬ吟社運営では、最大支出でもあるさいたま誌発行事業にも影響を与えています。しかし柳誌の内容についてだけは、更に充実させたいと念じています。

代表は責任を取る立場であると認識しつつ、会員諸氏のご理解ご協力と、お知恵拝借をお願いする次第です。

三月号 目次

堅太郎句抄(十五)	願法みつる	表紙	2
巻頭言 二年目ということ			1
彩玉集—同人吟			2
さいたまの柳人③② 潮田 春雄			5
雑詠			6
映像川柳	願法みつる選	石田 正則	6
ティータイム「あなたの写真館」			14
あなたからわたしから			15
七七句			16
拝啓 川柳様 其の五	松田重信選		20
旅の番外編 三つの涙の一番目			22
交替鑑賞 川柳ワールドに浸る	大塚やまぶき		24
初歩添削講座「夢」(雑詠)	加藤孤太郎		28
題詠 「明ける」 内田 雪彦	選		
「射る」 願法みつる	選		
「うたげ」 宮本彩太郎	選		
さいたま二月句会			30
古丘の世界			35
文・今村 寿子			35
インフォメーション			38
埼玉川柳社規約			40
第49回さいたま川柳大会(案内)			43
編集さろん			4
句会案内			3
表紙(題字・清水 美江 写真・千葉 古丘)			4

平成25年

3 月号 (No.640)

日川協加盟